

納税促進の考え方は

常に賛同できる町づくりを



のりあき 徳昭 議員
かめざわ 亀沢

年度、1200俵分のふるさと納税が完了している。当黒潮町のふるさと納税に対する考えと、寄付金の額を問う。

答 武政 総務課長

ふるさと納税とは、2千円を超える寄付に対して、確定申告により所得税と住民税が軽減される制度。黒潮町としては、自然保全、農林業振興、教育・文化振興、元気な黒潮町をつくるといった取り組みに賛同して頂き、参加をお願いしている。

問 ふるさと納税について各自治体がユニークな取り組みをしている。例えば、北海道上川郡東川町では寄付を町に対する投資と位置付け、株主として町づくりに参加して町の魅力を実感して頂き、その結果として町への移住促進にも寄与している。また、長野県阿南町の取り組みは、ふるさと納税に対するお礼として町内米を3万円の寄付に対して60キログラム進呈する事により、地産外商として地元

に還元するという制度で、今年度、1200俵分のふるさと納税が完了している。当黒潮町のふるさと納税に対する考えと、寄付金の額を問う。

ふるさと納税に対する基本的な考えとしては、寄付をしてくれる方々に対して、常に賛同を頂ける町づくりを目指している。例えば、喫緊の課題となっている南海トラフ地震・津波防災対策計画の作成。最大津波高さ34メートルという日本一厳しいリスクの中、

一人の犠牲者も出さない防災対策は、日本一安全な町づくりを進めていると思われる。全国に誇れる町づくりであり、多くの方々の賛同を得られると思っている。寄付を頂いた方々に対する感謝の意を表するお礼として、寄付金の額により特産品の金額を決めている。現在は黒砂糖がメインであり、選択肢が多くな

いのが課題である。今後は、缶詰製作工場での色々な商品に期待を寄せている。併せて缶詰の販路拡大に寄与できるのではないかと考えている。

答 武政 総務課長

ふるさと納税の受付実績は、平成20年度から平成26年5月末日まで約6年間の累計で、延べ78名、78件、金額は約3170万円であった。

黒潮町の平成25年度の移住者は、1組、4名であった。この数字は、役場の移住担当窓口を通じて移住された方たちで、個人的に移住された方たちまでは把握できていない。実際のところはもう少し多くの方が移住されているのではないかと推測される。

問題点は、空き家の紹介物件の掘り起こしと条件整備である。

移住促進

取り組みと
問題点は
空き家の
確保が困難

問 県知事を先頭に、高知家



ふるさと納税のお礼の品々